

大会名	平成24年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 女子1回戦
No. 103	2012 年 7 月 29 日 9 : 30
場 所	いしかわ総合スポーツセンター



若は希望とどけ
緑の大地をのびのびと
平成24年度全国高等学校総合体育大会
2012 北信越かがやき総体

石川県高等学校体育連盟バスケットボール専門部

チームA	チームB
慶進	高岡第一
山口県	富山県
114	47
○	●
34 1st 10	
24 2nd 10	
35 3rd 11	
21 4th 16	
OT	

主審:Referee
北島 寛臣 埼玉県
第1副審:Umpire1
田上 敬一 宮崎県
第2副審:Umpire2

テーブルオフィシャル:Table officials
金沢学院東高等学校

No.	s	慶進	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REB			AS	ST	BS	TO	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4	*	中村和泉	7	1	1	2	4	0	2	2	1	4	5	6	2	0	3	19
5	*	鶴川桃佳	9	1	3	2	2	2	2	0	2	3	5	3	3	3	3	24
6	*	松本愛美	29	1	2	9	13	8	9	0	2	6	8	3	2	0	0	22
7		浅田梨桂子	11	1	4	3	4	2	2	1	2	2	4	0	1	0	2	20
8	*	吉武路果	13	1	3	5	7	0	1	0	2	2	4	3	0	0	0	20
9		市丸亜由己	1	0	0	0	2	1	2	1	2	0	2	2	0	2	14	14
10		木下果歩	7	0	2	3	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	14
11		藤井園子	5	1	4	1	1	0	0	1	0	0	0	1	2	0	1	17
12		荒川紗笑子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13		池本朱里	13	0	0	6	9	1	1	1	3	4	7	0	2	0	0	19
14	*	藤岡麻美	6	0	1	3	5	0	0	0	3	3	6	1	1	0	1	18
15		橋本菜央	13	0	0	5	6	3	4	0	1	2	3	0	3	0	2	13
HC		村谷勉 /TEAM	-	-	-	-	-	-	-	0	0	4	4	-	-	-	1	-
合 計			114	6	20	39	56	18	25	6	18	30	48	19	18	3	15	200
					30%		70%		72%									

No.	s	高岡第一	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REB			AS	ST	BS	TO	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4	*	高田未那	7	0	3	3	5	1	1	3	1	2	3	0	0	0	4	28
5	*	中川美奈	2	0	0	1	1	0	0	5	2	1	3	1	0	0	0	20
6	*	春日美咲	21	5	14	3	11	0	0	0	2	3	5	2	1	0	8	35
7		佐藤渚	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
8		鶴瀬友理也	0	0	0	0	1	0	0	4	0	1	1	0	1	0	0	20
9		塚本夕貴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
10	*	中田敦子	6	0	0	3	10	0	0	3	1	5	6	0	0	0	4	34
11		篠嶋純花	5	1	5	1	10	0	0	1	4	1	5	3	3	0	9	29
12	*	成田実千留	6	0	0	2	4	2	4	3	2	1	3	0	0	0	3	32
13		岩崎伽朱美	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		則島彩矢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15		吉村恋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
HC		米田春菜 /TEAM	-	-	-	-	-	-	-	0	0	3	3	-	-	-	1	-
合 計			47	6	22	13	42	3	5	20	12	17	29	6	5	0	30	200
					27%		31%		60%									

SS担当: 星稜高等学校

中国大会を制した山口県の慶進と2年連続4回目の出場となる富山県の高岡第一の試合。スタートダッシュに成功した慶進が終始リードを守り続けて快勝した。
第1ピリオド、両チーム共にハーフのマンツーマンでスタート。序盤から、慶進は#4、#8の連続3P、#6の連続バスケットカウントでリードを広げる。一方、高岡第一は緊張からシュートが決まらず、なかなか得点が伸びない。34-10と慶進リードで終了。第2ピリオド出だし、高岡第一がパスカットからシュートを決め、巻き返しのきっかけをつかむ。徐々にリズムがでてくるが、慶進も#6、#13の個人技で着実に得点を積み重ね、流れをわたさない。58-20と慶進が38点差を付けて前半終了。
第3ピリオド、高岡第一は激しいプレッシャーディフェンスからミスを誘い、#6の3Pやドライブで反撃。しかし、慶進#6の個人技を止めることができず、逆に連続バスケットカウントを決められ引き離される。93-31と慶進リードのまま第3ピリオド終了。第4ピリオドに入り、高岡第一も追い上げようと積極的に攻めるが、慶進の勢いを止めることができず、114-47で慶進が勝利し、1回戦を突破した。
敗れはしたが、最後まであきらめずに精いっぱいプレーした高岡第一にも、会場から温かい拍手が送られていた。